

Tokai

広報とうかい お知らせ版
人・自然・文化が響き合うまち

October [No.175]

10・25

Bi-monthly Magazine
for The People of Tokai

2006年[平成18年]



熱戦に次ぐ熱戦 勝利を目指して“燃えろ！”

9月9日、村内の両中学校で体育祭が行われました。ここ東海南中学校(黒澤祐一校長、生徒数413人)では、『燃えろ! 輝け☆南中魂!!』のスローガンの下、生徒たちは、障害物競走や大縄跳びなど約20種目にわたって熱戦を展開。その中でも、クラス全員がバトンをつないで走る「全級リレー」や、仲間同士の足を縛って走る「むかで競走」などでは、抜きつ抜かれつの大接戦が繰り広げられ、グラウンドには、応援の保護者や生徒たちからのひととき大きな拍手と声援・歓声が響きわたっていました。

Contents [情報満載]

- ず〜むあっぷ「まちの風景」/国指定重要無形文化財「組踊」特別鑑賞会ほか… 2
- 募集/チャレンジスクールホッケーの部参加者、平成19年度自衛隊生徒、健康体操・健康教室参加者ほか… 3
- エトセトラ/「建設フェスタ2006」開催、「第74回全国吟詠のつどい」開催ほか… 5
- げんきアップ通信/口腔衛生について… 7
- さわやかインタビュー/藤田かおるさん… 8



●沖縄の伝統芸能を堪能！

9月16日、「国指定重要無形文化財〔組踊^{グミウドウイ}〕特別鑑賞会」が東海文化センターで行われました。これは、沖縄の言葉によるせりふに、歌や舞踊を交えた音楽劇〔組踊〕の鑑賞を通して、芸術・文化への興味を深めてもらうことを目的としたもの。第1部では、元服前の少年の踊りである若衆踊や、乙女心を表現した女踊など、沖縄伝統舞踊を披露。また、第2部では、若者の悲恋物語である組踊〔仲村渠真嘉戸^{ナカムリミカド}〕が上演され、会場は、沖縄芸能の魅力を心行くまで堪能した約500人の来場者たちの盛大な拍手に包まれていました。



●交通バリアフリーは、ハード・ソフトの両面から

9月16日、「交通バリアフリー教室」が総合福祉センター〔絆^{キズナ}〕およびJR東海駅周辺で実施されました。これは、高齢者や身体障がい者の疑似体験などを通して、公共交通機関を利用する際、障壁（バリア）となるものに対する配慮や人的な対応について理解を深めてもらうことを目的に、公共交通事業者等の協力を得て行われたもの。聴覚に障がいを持つ方による講話に続き、シニア体験やアイマスク体験、介助体験などを行った参加者たちは、高齢者や身体障がい者が感じている日常生活の難しさを痛感したようでした。



10月の納付

納付税目 村県民税第3期分
国民健康保険税第4期分
介護保険料第4期分

9月の村内交通事故発生状況

	発生件数	死者数	負傷者数
9月中の件数	17	0	25
1月からの累計	161	0	215
前年との比較	-26	±0	-17

役場の電話番号 ☎ 282-1711 (代表) クアッパ / Oct.



健康体操・健康教室 参加者募集

はつらつ健康体操

●日程等

期 日	場 所
11月6日(月)	白方コミュニティセンター
11月10日(金)	真崎コミュニティセンター
11月13日(月)	中丸コミュニティセンター
11月17日(金)	石神コミュニティセンター
11月20日(月)	総合福祉センター「絆」
11月24日(金)	村松コミュニティセンター

- 時 間 午前9時30分～11時
- 対 象 65歳以上の方
- 講 師 植田和子さん(健康運動指導士)
- 参加費 無料
- 内 容 チューブ体操、ストレッチ体操など

いきいき健康教室

●日程等

期 日	場 所
11月1日(水)	中丸コミュニティセンター
11月14日(火)	石神コミュニティセンター
11月22日(水)	白方コミュニティセンター
11月28日(火)	舟石川コミュニティセンター

- 時 間 午後1時30分～3時
- 対 象 65歳以上の方
- 講 師 大沢美智子さん(レクリエーションコーディネーター)
- 参加費 無料
- 内 容 リズム体操、ゲームなど

そ の 他

①運動のできる服装・靴、タオルや飲み物をお持ちください。②初めての方は、東海村地域包括支援センター(☎287-2516)への申し込みが必要です。

問 合 せ

東海村地域包括支援センター(☎287-2516)

募集

チャレンジスクール ホッケーの部参加者募集

- 期 日 11月11日から12月16日までの毎週土曜日(全6回)
- 時 間 午後1時～3時
- 場 所 茨城県立東海高等学校ホッケー場
- 対 象 村内在住・在勤・在学の小学生以上の方 ※スポーツ少年団および中学校・高等学校の部活動在籍者も参加できます。
- 参加費 無料
- 申し込み・問合せ 10月26日(木)から11月10日(金)までに、総合体育館(☎283-0673)へ申し込みください。

平成19年度入隊！ 自衛隊生徒募集

- 試験日 第1次試験…平成19年1月13日(土) 第2次試験…平成19年1月26日(金)から29日(月)までの指定する1日
- 対 象 中学校卒業(見込み)以上17歳未満の男子
- 合格発表 平成19年2月20日(火)
- 初任給 150,200円/月(賞与年4.4か月分)
- その他 一般高等学校と同じ学科および各種技術の基礎を学び、3年間の教育終了時には高等学校卒業資格が得られます。
- 申し込み・問合せ 11月1日(水)から平成19年1月9日(火)までに、自衛隊茨城地方連絡部水戸募集案内所(水戸市中央町2-7-37 ☎226-9294 ホームページhttp://www.ibaraki.plo.jda.go.jp 電子メールhq1@ibaraki.plo.jda.go.jp)へ申し込みください。

11月の各種相談

場 所	心配ごと相談所(総合福祉センター内)	
問 合 せ	社会福祉協議会(☎282-2804)	
相談日	時間	相談種別
10日(金)	10:00 ~ 12:00	心配ごと相談
17日(金)	10:00 ~ 15:00 (弁護士相談は正午まで)	心配ごと相談(弁護士相談)
		行政相談・人権相談
24日(金)	10:00 ~ 12:00	心配ごと相談
		行政相談・人権相談

11月の休日診療日程

診療時間	午前9時30分~正午、午後1時~2時	
問 合 せ	救急医療情報コントロールシステム(☎241-4199)	
期日	病医院名	電話番号
3日(金)	尾形クリニック	282-4781
5日(日)	村立東海病院	282-2188
12日(日)	武藤小児クリニック	282-7722
19日(日)	村立東海病院	282-2188
23日(木)	茨城東病院	282-1151
26日(日)	村立東海病院	282-2188

平成18年度東海村秋季卓球大会参加者募集

- 日 時 11月23日(木) 午前9時試合開始
- 場 所 総合体育館
- 種 目 団体戦のみ(1チーム5人まで)
一般男子(Ⅰ部・Ⅱ部・Ⅲ部)…ダブルス1・
シングルス4 一般女子(Ⅰ部・Ⅱ部・Ⅲ部)
…ダブルス2・シングルス3
- 参加費 1,500円/チーム ※中学生以下
は半額、連盟未登録者は5割増しとなります。
- 申し込み 11月15日(水)までに、総合体育
館に備え付けの申込用紙に必要事項を記入の
上、ファクシミリ(FAX282-2955)で申し込む
か、総合体育館の申込箱に入れてください。
- 問 合 せ 本石章司さん(☎282-2955)

スカーレットローズクラブ会員募集

- 活動日時 毎週火曜日 午前10時~正午
- 場 所 総合体育館
- 内 容 ストレッチ体操、エアロビクス、
筋力トレーニング、ヨガ、足裏マッサージなど
- 会 費 4,000円/人(半年分)
- 申し込み・問合せ 吉田佳代子さん(☎283-
2872)

第18回レディースダブルス大会参加者募集

- 期 日 11月8日(水) ※荒天の場合は、
9日(木)に順延となります。
- 時 間 午前8時45分受付開始
- 場 所 村テニスコート
- 対 象 村内在住・在勤の女性
- 参加費 1,500円/組
- 種 目 ①女子ダブルス ②女子ビギナー
ダブルス
- 申し込み 10月29日(日)までに、所定の申込
書に必要事項を記入の上、村テニスコートク
ラブハウス(☎282-8571)へ申し込みください。
- 問 合 せ 根本英子さん(☎282-2571)

男の生活工房「男性の洋裁教室」 参加者募集

ミシンを使って楽しみなが
ら洋裁を学べる教室を開催し
ます。ぜひ、ご参加ください。



- 期 日 11月18日(土)
- 時 間 午後1時30分
~3時30分
- 場 所 中央公民館
- 対 象 村内在住の男性(先着15人)
- 講 師 菊池春美さん(ニットソーイング
クラブ菊池教室代表)
- 参加費 無料(材料費は別途徴収)
- 申し込み・問合せ 11月2日(木)までに、企
画総務部自治推進課ハーモニー・交流係(内
線1343)へ申し込みください。

生きがいデイサービス 参加者募集

健康体操やレクリエーションを通して、仲間
づくりをしませんか。

●日程等

期 日	場 所
11月2日(木)	船 場 集 会 所
11月7日(火)	真崎コミュニティセンター
11月10日(金)	舟石川コミュニティセンター
11月13日(月)	白方コミュニティセンター
11月16日(木)	石神コミュニティセンター
11月20日(月)	豊 白 集 会 所
11月24日(金)	村松コミュニティセンター

- 時 間 午前9時30分~午後3時
- 対 象 村内在住の65歳以上の方
- 内 容 健康体操、レクリエーションなど
- 参加費 350円/回(昼食代)
- 問 合 せ 東海村地域包括支援センター(☎
287-2516)

11月の健康相談

場 所	保健センター(総合福祉センター内)		
問 合 せ	保健センター(☎282-2797)		
●健康相談	相談名	日時	
	母子健康相談 (乳幼児身体測定、育児相談)	13日(月)	9:30~11:00 13:00~14:00
	元気アップ健康相談 (健康に関する相談)	13日(月)	9:30~11:00 13:00~14:00
●乳幼児健診	健診名	日時	対象児
	乳児	8日(水)	13:15~14:00 平成18年6月生まれの子
	1歳6か月児	10日(金)	13:15~14:00 平成17年4月生まれの子
	3歳児	9日(木)	13:15~14:00 平成15年9月生まれの子
	2歳半歯科	14日(火)	13:15~14:00 平成16年4月生まれの子

●乳幼児教室	教室名	日時	対象児
	赤ちゃん教室	15日(水) 13:20~15:00	平成18年8月生まれの子
	ついでくるクラブ	29日(水) 9:30~11:00	双子・三つ子を妊娠中または育児中の方
●妊婦教室	教室名	日時	内容
	ハローベビー スクール	11日(土) 9:30~11:30	赤ちゃんのお風呂の入れ方、 パパの妊婦体験 ※ご家族も一緒に参加できます。

イトセトラ

入場料
無料

「建設フェスタ2006」開催

子どもたちに建設産業の魅力を楽しく理解してもらうことを目的に開催するイベントです。

- 日 時 10月29日(日) 午前10時~午後4時
- 場 所 国営ひたち海浜公園正面ゲート前
広場(ひたちなかテクノセンター隣)
- 内 容 建設機械体験コーナー、砂山の宝探し、ミニ上棟式、親子競演丸太切りなど
- 問 合 せ 茨城県土木部検査指導課(☎301-4370)

にせ税務職員にご注意!

最近、税務職員を装い、勤務先や取引銀行等の個人情報をお問い合わせの事例が発生しています。このような電話があった場合には、即答せず相手に相手の所属と氏名をご確認いただき、税務署または県税事務所にお問い合わせください。

- 問 合 せ 太田税務署(☎0294-72-2171)、常陸太田県税事務所(☎0294-80-3310)

「第74回全国吟詠のつとめ」開催

古典芸能を学び、日本古来の伝統文化を継承していくことを目的とした、詩吟と舞の全国大会を開催します。ぜひ、ご来場ください。

- 期 日 10月28日(土)
- 時 間 午前10時~午後4時
- 場 所 東海文化センター
- 入 場 料 無料
- そ の 他 入場者には記念品を用意します。ただし、引換券が必要となりますので、詳細についてはお問い合わせください。
- 問 合 せ 佐竹霞邦さん((社)霞朗詠会晴嵐会会長 ☎282-0808)

応急手当普及員養成講習会受講者募集

応急手当の指導・普及を行う応急手当普及員の養成講習会を開催します。

- 期 日 11月17日(金)から19日(日)までの3日間
- 時 間 午前8時30分~午後5時
- 場 所 常陸太田市総合福祉会館(常陸太田市稲木町33番地)
- 定 員 先着60人
- 内 容 応急手当の基礎知識、心肺蘇生法、搬送法、AED(自動体外式除細動器)の使用法など ※修了の際に認定証を交付します。
- 受 講 料 4,000円/人(ポケットマスク代、教材費等)
- 申 込 込 み・問 合 せ 10月27日(金)から11月10日(金)までに、消防署に備え付けの申請書に必要事項を記入の上、消防署救急救助係(☎282-2038)へ申し込みください。

精神保健福祉ボランティア養成講座受講者募集

心の病について正しい知識を習得し、精神障がいを持つ方が地域で安心して暮らしていけるよう理解を深め、ボランティア活動をしてみませんか。

- 期 日 11月16日(木)・17日(金) ※全2回
- 時 間 午前9時30分~午後4時
- 場 所 総合福祉センター「絆」ほか
- 対 象 村内および周辺地域に在住の方で、2日間とも受講できる見込みのある方
- 定 員 先着20人
- 内 容 精神保健福祉の基礎的知識についての講義、施設見学や意見交換会
- 受 講 料 無料(昼食は自己負担)
- 申 込 込 み・問 合 せ 11月10日(金)までに、社会福祉協議会(☎282-2804)へ申し込みください。

農地利用権設定の申し込みを受け付けます

農業委員会では、「農業経営基盤強化促進法」に基づき、農地を借りて生産性の高い農業経営を目指す農業従事者などを対象に、農地の利用権設定の申し込みを受け付けます。

■**申し込み・問合せ** 11月1日(水)から24日(金)まで(土・日曜日、祝日を除く)の午前8時30分から午後5時15分(午後0時15分から1時までを除く)までに、所定の申請書に必要事項を記入の上、農業委員会事務局(内線1436)へ申し込みください。

11月1日から7日は文化財保護強調週間

昭和29年11月3日、火災に遭った法隆寺金堂の修復工事が完了しました。文化財の保護や大切さを考え直そうと、その日を中心とした1週間を「文化財保護強調週間」と定められました。

文化財は、長い歴史の中で生まれ、今日まで守り伝えられてきた掛け替えのない貴重な財産です。この機会に、身近にある文化財に目を向けてみませんか。

■**問合せ** 教育委員会社会教育課文化・スポーツ振興係(内線1423)

今年も盛りだくさん！ 東海村文化祭2006

●日程等

東海文化センター	
10月27日(金)	小中学校音楽発表会
10月30日(月)	文化講演会(古賀稔彦さん)
11月3日(金)	東海太鼓保存会和太鼓演奏、東海オカリナクラブオカリナ演奏、合唱とハーモニカコンサート、謡曲と仕舞の発表会
11月4日(土)	民謡楽楓会、箏コンサートリトルカンパネラ、ジャズダンス&フラダンス、ロック&ハワイアンコンサート
11月5日(日)	舞踊発表会、大正琴演奏、尺八演奏、芸能発表会(民謡楽帆会、津軽三味線、尺八、箏曲、吟詠剣詩舞)、カラオケ発表会
総合体育館	
11月3日(金) ～5日(日)	展示 絵画彫刻展、書道展、写真公募展、技芸展、盆栽展、いけばな展、菊花展、秋の山野草展、水墨画展、食生活展、女性連協展、児童・生徒作品展、高齢者作品展、環境ポスター展、建築士会展、東海村の文化財展、子ども体験広場、伝統文化いけばな子ども東海教室
	催事 茶会、アマチュア無線展、「たんぼほの会」のおはなし会、気功太極拳表演会、山野草バザー、技芸バザー、東海ライオンズクラブ慈善バザー、よさこいソーラン舞、原研前郵便局
中央公民館	
11月3日(金) ～5日(日)	鉄道模型運転会
11月4日(土)	外国人の日本語スピーチ
11月5日(日)	村民囲碁大会・将棋大会
村松コミュニティセンター	
11月4日(土)	ダンスの夕べ

●**問合せ** 教育委員会社会教育課文化・スポーツ振興係(内線1423)

乳幼児医療福祉費助成制度が 11月から変わります

乳幼児(小学校入学前までの医療福祉費助成制度(福)において、所得制限のため対象外となっていた方の医療費の自己負担分を、平成18年11月診療分から、村独自の制度により助成することになりました。



新たに対象となる乳幼児の保護者の方には、手続きに関するお知らせを郵送してありますが、まだお手元に届いていない方は、お手数でも福祉部保健年金課医療福祉係へお問い合わせください。なお、すでに医療福祉費助成制度の受給者となっている方は、あらためて申請の手続きをする必要はありません。

●**問合せ** 福祉部保健年金課医療福祉係(内線1134)

11月の東海文化センター催し物案内				
期日	催し物	開演	主催	入場料
3日(金)	東海村文化祭2006 (太鼓、オカリナ、合唱、謡曲)	11:00	東海村文化祭実行委員会	無料
4日(土)	東海村文化祭2006 (民謡、箏コンサート、ジャズダンス&フラダンス、ロック&ハワイアン)	11:00	東海村文化祭実行委員会	無料
5日(日)	東海村文化祭2006 (舞踊、大正琴、尺八、芸能、カラオケ)	9:00	東海村文化祭実行委員会	無料
19日(日)	斉藤雅広とその仲間たち 名曲セレクションI・II	I…11:00 II…15:00	(財)東海村文化・スポーツ振興財団	全席指定 I…大人1,500円、 中学生以下500円 II…2,000円
26日(日)	東海自由空間 vol.5「PLAY the CLASSIC! -弦楽器シリーズ-	14:00	(財)東海村文化・スポーツ振興財団	無料
30日(木)	社会福祉法人東海村社会福祉協議会 設立50周年記念社会福祉大会	13:00	東海村社会福祉協議会	無料

資源物	(単位:日)	燃えないごみ・粗大ごみ・有害ごみ	(単位:日)
真崎・船場・舟石川中丸・外宿2・照沼・原子力機構太田	1・9 16・24	押延・須和間・船場・原子力機構荒谷台	1・15
白方・緑ヶ丘・原子力機構長堀1・原子力機構長堀2・須和間・原子力機構荒谷台・原子力機構箕輪	2・10 17・27	竹瓦・内宿1・内宿2	2・16
舟石川1・外宿1・宿・押延・岡・原子力機構百塚	6・13 20・28	真崎・権現山寮・真砂寮	7・17
内宿1・百塚・内宿2・亀下・豊岡・竹瓦	7・14 21・29	原子力機構長堀1・原子力機構長堀2・長堀寮・舟石川3・原電滝坂・石橋向住宅・外宿1・外宿2	6・20
舟石川2・南台・舟石川3・豊白・川根・原電滝坂	8・15 22・30	緑ヶ丘・南台	7・21
※収集日数は各地域に委ねています。なお、資源物は収集日当日の朝7時から8時30分までに出示してください。		百塚・豊岡・亀下・豊白	8・22
		白方・岡・原子力機構百塚	10・24
		舟石川1	9・27
		原子力機構太田・原子力機構箕輪・宿・川根・照沼	14・28
		舟石川2・舟石川中丸	13・29

燃えるごみ	
月・木曜日	真崎・白方・宿・岡・原子力機構太田・原子力機構箕輪・原子力機構百塚・原子力機構荒谷台・真砂寮・権現山寮・南台・緑ヶ丘・押延・須和間・川根・照沼・豊岡・亀下
火・金曜日	舟石川1・舟石川2・舟石川3・舟石川中丸・百塚・豊白・原子力機構長堀1・原子力機構長堀2・長堀寮・原電滝坂・石橋向住宅・外宿1・外宿2・船場・竹瓦・内宿1・内宿2

げんきアップ通信 55

最近では、体は健康でも、口は「寝たきり状態」といった、食事の介助を必要とする高齢者が増えています。「硬いものがかめなくなった」「食事の際にむせることがある」などのトラブルは、口腔機能が低下していることを示す信号です。そのまま放置していると、食事の際に介助が必要という状態になりかねま

掛けることは、虫歯予防や歯周病予防だけではなく、介護予防にも効果があります。今年の4月に改正された介護保険制度でも、介護予防施策として、食べる・話す・唾液を分泌するなどといった口腔機能の向上支援などが盛り込まれています。では、なぜ口腔衛生を保つことが介護予防につながるのでしょうか。

11月8日は、「いい歯の日」です。そこで今回は、「口腔衛生」についてお話しします。

実は、介護を必要とする高齢者の死因の第1位は肺炎です。しかも、そのうちの3割は、口腔内の細菌などが気管から肺に入ることと起こる誤嚥性肺炎によるものだといわれています。食後の歯磨きなど口腔ケアを十分に行っていないと、口腔内の細菌が増加するため、介護を必要とする高齢者は、特に注意が必要です。

肺炎や老化を予防するために、自分の歯や入れ歯を手入れすることはもちろんですが、舌の手入れも大切です。舌の動きが鈍くなると、そこに舌苔(げんこ)の表面にできる白色または褐色の苔状のもの(が)が付きやすくなります。口腔内に舌苔が増えると、細菌が発生しやすくなりますので、口腔内を常に清潔に保つことが必要です。そこで、歯磨きをする際には、舌のブラッシングを行うとともに、舌苔の付着を防ぐために、軽い振動を与えるといいでしょう。また、口腔機能を向上させることが栄養改善や免疫機能の向上につながりますので、唇やほおのマツ

せん。口腔衛生を心掛けることは、虫歯予防や歯周病予防だけではなく、介護予防にも効果があります。今年の4月に改正された介護保険制度でも、介護予防施策として、食べる・話す・唾液を分泌するなどといった口腔機能の向上支援などが盛り込まれています。では、なぜ口腔衛生を保つことが介護予防につながるのでしょうか。

口腔衛生は、誰もが毎日できる簡単な効果的な予防・治療法です。元気なうちから口腔内をきれいに保って、快適な生活を目指しましょう。村では、40歳、50歳、60歳、70歳といった節目に、成人歯科検診を行っています。上手にご利用ください。

口腔衛生は、誰もが毎日できる簡単な効果的な予防・治療法です。元気なうちから口腔内をきれいに保って、快適な生活を目指しましょう。村では、40歳、50歳、60歳、70歳といった節目に、成人歯科検診を行っています。上手にご利用ください。

口腔衛生は、誰もが毎日できる簡単な効果的な予防・治療法です。元気なうちから口腔内をきれいに保って、快適な生活を目指しましょう。村では、40歳、50歳、60歳、70歳といった節目に、成人歯科検診を行っています。上手にご利用ください。



●問合せ 保健センター(☎282局2797)



藤田かおるふじたさん
(須和間)

今月のさわやかインタビューは、水戸赤十字病院に勤務している藤田かおるさん(22歳)に登場してもらいました。

小児科病棟を担当するかおるさんは、看護師になって1年目。看護の際は、感情をうまく表現できない子どもたちの「心」の声を聞くこと、一つ一つの表情やしぐさを注意深く見ることを心掛けているそうです。そんなある日、退院することになった小さな女の子から「ありがとう。おじいさんがばつてね」と、かおるさんの似顔絵が入った手紙をもらったのだとか。覚えてたようなたどたどしい文字と、かわいらしい絵に「思わず目頭が熱くなりました」と話します。

そんなかおるさんは、旅行が大好きだそうで、「今後は、発展途上国を中心に多くの国々を訪れ、視野を広げていきたい」とか。「きつと、今以上に「心」の声を聞くことができるようになると思うんです」と話す笑顔は、常に子どもたちを思う優しさに満ちていました。



ふるさと歴訪
歴史を再発見

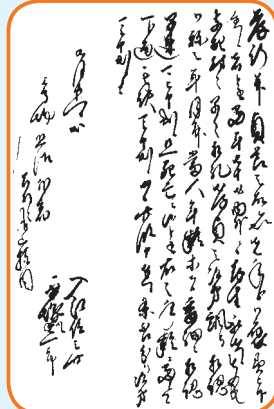
孝行・貞節などの褒賞

茨城工業高等専門学校名誉教授

佐久間 好雄

引用した古文書(史料)は、天保8(1837)年の山横目照沼家の「御用留」という記録です。

本文の読み方は、「孝行並びに貞節之故を以て、先年より御褒美下し置かれ候者ども、当年70才内外にて存生罷り在り候もの共、支配村々早々相糺し、孝貞の次第調と相認、御称の年月、当人年齢等は委細に相認、早速申出らる可く候、且死亡に候とも右之年齢に当り候はば、一通其の訳申出らく可く候、仍て此段申達候条、否分り次第申出らく可く候以上」というものです。



「孝行・貞節」の者へは、郡奉行所に報告することが命じられたのです。山横目がこれらの条件に該当する者を調べて報告することは、大変だったと思われます。

さて、このように褒賞の対象となった人々には、水戸藩から、

之介、平塚登一郎という郡奉行所の役人名で出されたもので、その宛名は、上高場、照沼、外宿村の山横目となっています。

この御用留の内容は、「この年は凶作だったため、食料もなく、大変な年でした。しかし、大変な年であったからこそ、水戸藩では、親孝行や貞節な者、そして70歳以上の老人たちを表彰

しようというのです。また、70歳以上で死亡してしまつた者でも、一応の表彰推薦の理由を書いて出すように命じています」というものです。

一般の庄屋の上に位置する山横目という職務に当たっている者は、自分の管轄する約10か村くらの村々のうちで、親孝行・貞節・70歳以上の者を調べて、郡奉行所に報告することが命じられたのです。

山横目がこれらの条件に該当する者を調べて報告することは、大変だったと思われます。

さて、このように褒賞の対象となった人々には、水戸藩から、どのようなものが与えられたのでしょうか。親孝行・貞節の者へは、一般的には銭が下賜されました。そうはいつても、そんなに大きな額の銭ではありません。また、70歳以上の老人へは、胸着(ベスト)などが一般的でした。このようなことは、村人にとって大きな励みとなつていたのです。